

※質問の全文を記載しています。
※「問」については、議員が提出した通告書どおりに掲載しており、編集は行っていません。



答弁中の中嶋町長

ライフラインが使用できない場合の対応は

各防災センターに整備

問 町長の公約の中に「安全安心な町づくり事業の推進」が挙げられていますので、その点について質問させていただきます。

本町において、大規模災害等によりライフライン（電気・ガス・水道）が使用できない状況等が発生した場合の対応についてどのようにお考えですか。

緊急時には釜戸等を使って一時的に対応し、その後、被害が少なかったところが協力をするのが良いと考えます。緊急対策用の炊き出し器具等の準備（設置）の考えがありますか。

また、緊急時に対応できるよう、公民館や集会場などに釜戸が設置されているか調査していただくことを希望します。



猪谷 繁幸 議員

答 中嶋町長

正確に調査はしていませんが、公民館等には、薪を使う釜戸や炊飯設備は無いと思えます。須恵町では、地震等の災害により560人の方が避難される想定のもと、須恵町役場敷



地内の中央防災センターに1680食分の食糧を備蓄しています。

また、災害時には、保健センターや小学校・幼稚園等の給食調理室を活用して炊き出しが出来るよう、本町女性職員による災害時炊き出し訓練も行っています。



中央防災センター（役場敷地内）

そのほか、26年度は、佐谷区の上の原アークセンターを改築し、東部地域防災センター（仮称）を整備する予定で、中央防災センターとの2カ所に、大型炊き出し器とガスバーナーを1基ずつ備える計画にしています。

図書館建設に向けて

任期中に方向性を

問 須恵町で、充実していない施設ワースト1は図書館です。文字離れが進む中、読書に親しむ環境づくりが重要です。幅広い年代層の方が利用でき、静かな環境で読書できる部屋や、ビデオ鑑賞ができる視聴覚室、多目的に使える部屋などを完備した図書館の建設が求められています。

図書館が開設されているあ



今村 桂子 議員

答 中嶋町長

おば会館の老朽化に伴い、図書館の建設時期にきています。4期目の町政に向け、4年間の実現へ期待が高まっています。図書館建設について質問します。

町の施策の中で、緊急性が高いものとして、高齢者福祉施策・待機児童問題・学校の増築や耐震改修等があり、順序からすれば図書館の建設は、若干遅れる可能性があります。

住民の代表の方にも入っていただし、位置や経営形態、図書館のあり方等について計画を練り上げ、任期中に図書館建設の方向性は出したいと思っています。

地域包括支援センターを身近に

積極的に紹介

問 平成24年に地域包括支援センターが役場内で介護支援を開始してから2年が経過しましたが、いまだに仕事内容や相談・利用の仕方などが周知されていない状況です。

民生委員・社会福祉協議会等の関係団体との情報共有等、地域の介護を支える須恵町ケア会議の立ち上げや、町民が介護支援を身近に利用できるように地域包括支援センターの周知等が必要です。

これからますます高齢者や家族の支援が必要となります。町長のお考えは。

答 中嶋町長

地域包括支援センターは、役場庁舎1階に開設しており、高齢者の方々の総合的な相談、介護予防のケアマネジメント業務、成年後見制度の紹介、高齢者虐待・認知症への対応



地域包括支援センター

など、様々な支援を行っています。センターの機能強化を図り認知度を向上させるため、積極的に紹介していきたいと思えます。

地域ケア会議については、来年度から市町村が主管となって実施されます。

今後その組織を立ち上げ、関係機関との情報の共有、ネットワークの形成、地域課題の発見等を行い、高齢者に対する支援の充実、社会基盤の整備等を推進します。